

エアテント

【組立・取扱説明書】

JAN : 4582722751652



※写真はイメージです。

「安全上のご注意とお願い」 **要保管** この組立・取扱説明書は必ず保管してください。

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を末永く安全にご使用いただくために、ご使用前にこの取扱・組立説明書を最後まで読み、正しくご利用いただきますようお願い申し上げます。なお、お読みになった後も、お使いになる方がいつでもご覧になれるよう、大切に保管してください。本来の用途以外でご使用になった場合の故障・修理・事故・その他の不具合については責任を負いかねますのでご了承ください。本製品は直射日光による紫外線および湿気等の影響により劣化が生じ将来的に強度等が低下してまいります。使用前に本製品各部に異常がないことを必ず確認してから使用してください。少しでも異常がある場合は使用しないでください。

設営及び保管等について

- 平坦で水はけがよく風当たりの弱い場所を選んで、小石や木の枝等を取り除いてから設営してください。
- ペグやロープは消耗品です。予備として市販のペグやロープ等を常に用意してください。
- 設営場所の地質や地面の状態（堅い・普通・柔らかい等）に適したペグを使用するようにしてください。（付属のペグは砂利や固い地面には向いておりません）
- ペグやロープの固定や張り具合等は、設置後も時々点検するようにしてください。
- 生地は、日光や雨風にさらされることで徐々に劣化し、生地の表面が色あせたりします。強度が低下して損傷（切れや裂け）が生じた場合は、危険ですので、ご使用をおやめください。

- 生地の著しい汚れは、薄めた中性洗剤を柔らかいブラシや布等につけて落とし、洗剤分をよく拭き取って風通しのよい日陰で十分に乾燥させてください。漂白・丸洗い・ドライクリーニング・乾燥機等で乾燥しないでください。
- 使用後ペグには、十分に乾燥させた後に市販の防サビスプレー等を塗布するようにしてください。
- 直射日光や雨風の当たる場所・高温多湿を避けて、屋内の乾燥した場所に収納・保管してください。
- ご使用にならない時は、お客様の手の届かない場所に保管してください。

⚠ 警告

取り扱いを誤ると、死亡事故または重傷などを負う可能性があります。

- 野外に放置すると風・雨などの影響により破損する可能性があります。
- 風が強いと本体が飛ばされたり、転倒したりして本体の破損、又は事故につながる危険がありますのでご使用をおやめください。
- テントに火を近づけたり、テントの近くで焚き火や花火等をしてください。パーツが焼損したり、火災や火傷の危険があります。
- 寒冷期や降雪時には設営しないでください。積雪によって倒壊したり、事故につながる危険があります。
- 落雷・強風・豪雨等の悪天候時、および悪天候が予想された場合は、直ちに撤収または安全な場所に避難してください。落雷事故・風や雨等による事故の危険があります。
- 開けた場所の木の側・崖の近く・中洲・水際や波打ち際には設営しないでください。落雷事故・落石や土砂崩れによる事故・増水等による水難事故の危険があります。
- 本製品はキャンプ地・レジャー等での使用を目的とした製品です。常設用や山岳用には使用しないでください。著しく劣化したり、事故につながる危険があります。

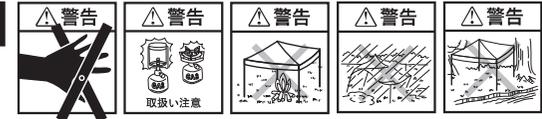
⚠ 使用上の注意

取り扱いを誤ると、負傷または物的損害が発生する可能性があります。

- 平坦で安全な場所を選んで（または整地して）、安定性よく確実に設営してください。
- ペグやロープで固定できない場所では、市販のアンカー等で確実に固定してください。
- 設営後、降雨にみまわれた際、テント内から生地に触れたり、生地に物を立て掛けると、雨濡りを誘発することがありますのでご注意ください。
- 使用後は、生地の汚れを柔らかいブラシや布で落として風通しのよい日陰で乾燥させ、汚れや水気を乾いた布でよく拭き取って十分に乾燥させてから収納してください。
- 汚れや水気が付着したまま放置したり収納しないでください。生地に色移りや劣化が生じたり、高温になる所・屋外に放置しないでください。生地や樹脂パーツが劣化する原因となります。
- 製品の管理には万全を期していますが、①誤った使用方法②部材の消耗と経年劣化により、使用上の不具合が発生する恐れがあります。ご使用前には必ず点検と安全確認を行ってください。
- 空気の入れ過ぎは製品不良の原因となりますので十分に注意ください。
- 空気は自然と少しずつ抜けていきます。その時は空気の追加注入をしてください。
- 空気を抜く際はゆっくり空気を抜いてください。無理に空気を抜こうとすると製品の破損に繋がりますのでご注意ください。
- 空気は温度の変化によって膨張したり、収縮したりします。

必要な道具

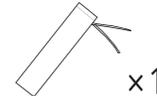
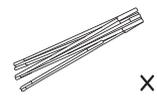
- ・ハンマー



※ケガなどを防ぐために手袋をはめて行ってください。

※絵表示は注意事項を示すものであり、実際の形状とは異なっています。

部品明細

本体	空気ポンプ	フレームケース	フレーム	ロープ
 ×1	 ×1	 ×1	 ×2	 ×4
ペグ	ペグケース	キャリーバッグ	収納用紐	
 ×8	 ×1	 ×1	 ×1	

組立方法

1 テント設営場所を決める

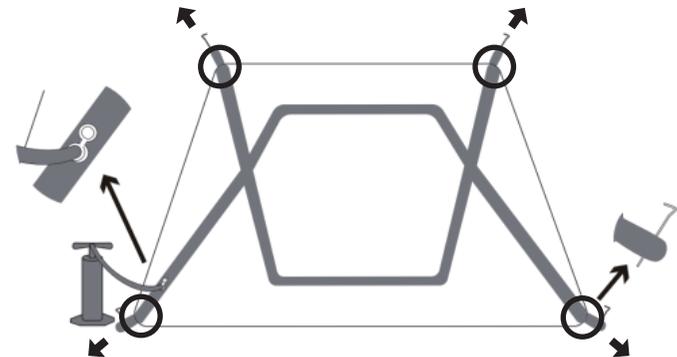
1-1 テントの出入り口部分を確認し向きを決めて下さい

※入り口が風下になるよう設置してください。

1-2 できるだけ平坦で石や岩の少ない場所を選びテントを広げてください

2 4箇所をペグ止め

テントのペグ用ループ4箇所(○印)をペグで固定してください



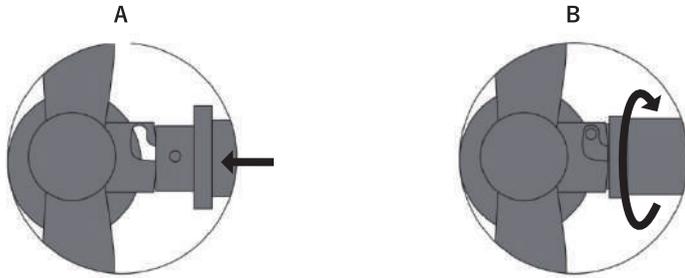
裏面へ続きます。➡

3 4箇所をペグ止め (つづき)

※4方向(→方向)に引っ張りテンションをかけるときれいな形に仕上がります。
 ※生地引っ張り過ぎは、生地破損に繋がる恐れがありますので注意してください。

4 テントと空気ポンプの取り付け

ポンプとホースを下記 A、B のように取り付けます。
 ポンプの先端をテントの空気バルブ径に対応するものに付け替えます。



5 空気を入れる

最初の組み立ての際はバンド(○印)を外して立ち上がる位置にズラしてください
 テント裾の空気バルブのキャップCを回してキャップを開けてポンプとつなげ空気を入れていきます。※空気の入れ過ぎに注意ください

※バンドは内側にあります。



※空気の入れ過ぎに注意ください

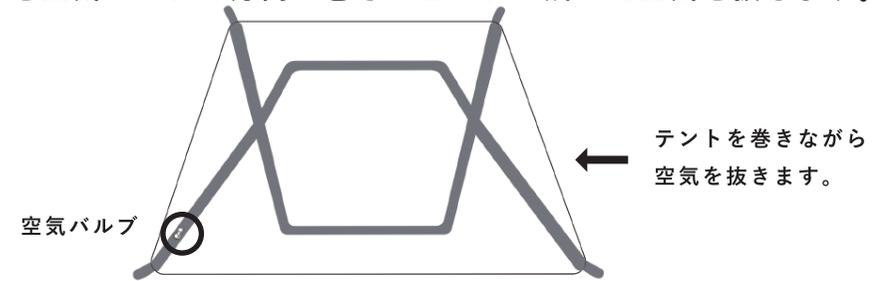


収納方法

1 テント裾の空気バルブのキャップDを外します。

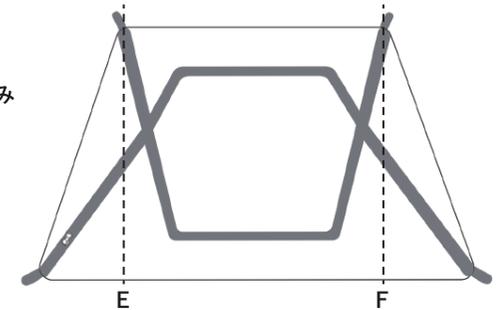


2 テントを空気バルブの方向に巻きチューブに残った空気を抜きます。

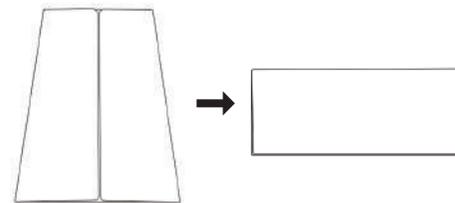


3 テントの畳み方

3-1
 テントの両端を点線Eの位置、Fの位置で畳み
 長方形にします。



3-2
 さらに半分にたたみます。



3-3
 テントを巻きキャリーバッグに収納します。

